

資料No.「業務1-21」

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様
【標準仕様の記載ルール】

V3.6



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目次

本書の位置づけ	1
1. 標準仕様の策定ドキュメント	2
1.1 業務ユニットの定義	3
1.1.1 機能一覧	3
1.1.2 機能構成図(DMM)	5
1.1.3 機能情報関連図(DFD)	7
1.1.4 インタフェース仕様	9
1.1.5 データ一覧	11
1.1.6 インタフェース一覧	13
1.1.7 XMLスキーマ	15
1.1.8 WSDL定義	16
1.2 辞書の定義	17
1.2.1 項目セット辞書	17
1.2.2 コード辞書	19
2. 附則	21
2.1 業務ユニット番号の付番	21
2.2 機能番号の付番	22
2.3 スキーマの命名	23
2.4 項目セット辞書の命名	24

本書の位置づけ

本書「自治体業務アプリケーションユニット標準仕様【標準仕様の記載ルール】」は、同標準仕様に掲載している以下のドキュメントに関する記載ルールを規定したものである。

今後、新たな業務ユニットの標準仕様を策定するに当たっては、本書の記載ルールに沿って作成することで、地域情報プラットフォーム標準仕様(APPLIC標準仕様)として統一され、様々な業務ユニットとのインタフェース連携の分析や開発等が容易となる。

掲載資料一覧

<業務ユニット間のデータ連携関連>

業務1-4	機能一覧
業務1-5	機能構成図(DMM)
業務1-6	機能情報関連図(DFD)
業務1-7	インタフェース仕様
業務1-8	データ一覧
業務1-9	インタフェース一覧
業務1-10	XMLスキーマ
業務1-11	WSDL定義
業務1-12	項目セット辞書
業務1-13	コード辞書

1. 標準仕様の策定ドキュメント

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様で策定するドキュメントは、以下に大別される。

- ・業務ユニットの定義 : 業務ユニットに関する定義
- ・辞書の定義 : 複数の異なる業務ユニットで共通的に使用される再利用可能な定義

(※辞書の定義は、策定作業の効率化と品質向上を実現することを目的とする。)

①業務ユニットの定義

自治体業務アプリケーションユニットにおける業務ユニットの定義に関するドキュメントを以下に示す。
業務ユニットを定義する場合は、業務ユニット毎に、以下のドキュメントを策定するものとする。

No.	ドキュメント名	内容
1	機能一覧	各業務ユニットが提供する機能を一覧形式にて説明したもの。
2	機能構成図(DMM)	機能一覧に従い、各業務ユニットの機能を明示的に階層化し、その構成を表したもの。
3	機能関連図(DFD)	業務ユニット間の情報の相関関係と連携(流れ)を階層単位に示したものを。
4	インタフェース仕様	業務ユニット間のデータ連携におけるデータ項目とその入出力状態を明細化したもの。
5	データ一覧	各業務ユニットが所管するデータにおいて、他の業務ユニットからデータ連携(SOAP 呼び出し)にて参照されるものを集約したもの。
6	インタフェース一覧	各業務ユニット間にてデータ連携するインタフェース(SOAP 呼び出し)を定義したもの。
7	XMLスキーマ	データ一覧に従い生成した XML スキーマ。
8	WSDL定義	インタフェース一覧に従い生成した、各業務ユニット間インタフェースの WSDL 定義。

②辞書の定義

自治体業務アプリケーションユニットにおける辞書の定義に関するドキュメントを以下に示す。

尚、「自治体業務アプリケーションユニット標準仕様」で定める辞書の定義は、自治体業務アプリケーションユニット・シリーズで共通的に使用されるものである。固有の業務ユニットで辞書の定義を必要とする場合には、同標準仕様の辞書の定義とは別に策定するものとする。

No.	ドキュメント名	内容
1	項目セット辞書	各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目の型を定義した辞書。
2	コード辞書	各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目のコードを定義した辞書。

1.1 業務ユニットの定義

1.1.1 機能一覧

(1) 概要

機能一覧では、業務ユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を文章で説明する。

機能は、階層構造で定義する。最下位の機能レベル(下記の例では機能(レベル02))は、一般的に妥当性が高いと思われる機能単位機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものにする。

また、機能一覧は、機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)と機能番号で関連づける。

・記載イメージ

機能一覧		業務名
		1.住民基本台帳
機能(レベル01)	機能(レベル02)	機能説明
1.1.異動(増加)	1.1.1.転入	住民の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。
	1.1.2.戸籍届出による異動(増加)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。(出生、国籍取得、帰化)
1.2.異動(減少)	1.2.1.転出	住民の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。
	1.2.2.戸籍届出による異動(減少)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。(死亡、失踪宣告、国籍喪失)
1.3.異動(変更)	1.3.1.転居	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の住所要件(住所や世帯構成員、続柄)を変更する。
	1.3.2.世帯変更	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報を変更する。(世帯合併、分離、世帯主変更、世帯変更)
	1.3.3.戸籍届出による異動(増減なし)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の戸籍要件(氏名、本籍、筆頭者、続柄)を変更する。(氏名変更、婚姻、離婚、転籍、戸籍訂正等)
	1.3.4.住民票記載事項の変更	職権により、住民基本台帳の世帯情報、個人情報を変更する。(住居表示、通知により)
	1.3.5.その他変更	外国人登録により、住民基本台帳の個人情報を追加、変更する。
1.4.照会	1.4.1.住民票情報照会	世帯情報、個人情報に登録された情報を表示する。
	1.4.2.住基カード発行状況照会	住民基本台帳カードの発行状況を表示する。
1.5.発行	1.5.1.証明書交付	住民の申請に基づき、証明書(住民票、住民票記載事項証明書等)を出力する。
	1.5.2.通知発行	他市区町村、住民へ各種通知(転入通知、附票記載事項通知、住民票コード通知等)を送付する。
1.6.統計・報告	1.6.1.統計・報告(都道府県、関係機関)	都道府県に対し、各種統計情報(転入・転出者数表等)を送付する。
	1.6.2.統計・報告(統計部門)	他部署(統計部門)に対して、各種統計情報(年齢別統計、人口ピラミッド等)を送付(開示)する。
1.7.閲覧	1.7.1.住民閲覧	住民に対し、世帯情報、個人情報を閲覧する。

図 1.1.1 機能一覧

・記載内容

No.	項目名	内容
1	業務名	業務ユニットの名称
2	機能	機能の名称
3	機能説明	機能の概要説明

(2)ルール

・機能の階層構造

No.	内容
1	機能は階層構造にする。
2	機能の階層数は、任意。(推奨は2階層。)
3	機能の階層数は、業務ユニット毎に定める。
4	機能の階層数は、業務ユニット内で統一する。
5	最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位にする。
6	上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものにする。
7	1機能に含まれる下位機能の数は任意。(推奨は3~8機能。)

・機能名

No.	内容
1	機能名は、機能をイメージできる表現にする。
2	機能名は、「～処理」は用いない。

・機能説明

No.	内容
1	機能説明は、「～を行う」等の動詞で表現する。

・その他

No.	内容
1	業務名の欄には、業務ユニット番号と業務ユニット名を記載する。
2	機能名の欄には、機能番号と機能名を記載する。

(3)留意事項

- 標準仕様は業務ユニット間のデータ連携を規定することが主目的であるため、各業務ユニットの内部(実装)機能までは規定しない。よって、機能一覧でも、データ連携が発生する業務機能を中心に記載し、データ連携が発生しない(当該業務ユニット内に閉じた)業務機能については最低限標準として必要なものに限定して記載する。
- 業務機能は、当該業務の根拠法令、自治体の導入事例、ベンダの製品事例などを十分に加味し、標準仕様として妥当と位置づけられるものを中心に定義する。逆に、自治体の地域特性によって異なる業務機能など、標準仕様に馴染まないものは定義しない。
- 機能階層は、同類の機能をグループ化することにより、仕様を分かり易くする為のものである。機能階層は業務ユニットの実装を規定するものではない。
- 機能名と機能番号は、機能一覧・機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)において整合性をとる。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	DMM(Diamond Mandala Matrix)の手法で表現する。 (・中央の格子の中心のマスに、業務ユニット名を記載する。 ・中央の格子の周辺の8つのマスに、業務ユニットを構成する機能(レベル01)を記載する。 ・周囲にある8つの格子の中心のマスに、機能(レベル01)を記載する。 ・周囲の8つの格子の周辺の8つのマスに、機能(レベル02)を記載する。)
2	マスには、機能番号と機能名を記載する。
3	1つの機能構成図(DMM)には、例えば、レベル01とレベル02等、2つの階層を表現する。
4	機能の階層が3階層以上の場合には、下位の階層のDMMを作成する。

(3) 留意事項

- ・機能名と機能番号は、機能一覧・機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)において整合性をとる。

1.1.3 機能情報関連図(DFD)

(1)概要

機能情報関連図(DFD)では、業務ユニット間のデータ相関関係を表す。

機能情報関連図(DFD)は、機能の階層毎に定義する。

又、機能情報関連図(DFD)は、機能一覧・機能構成関連図(DMM)とは機能番号で関連づける。

又、機能情報関連図(DFD)は、インタフェース仕様と情報名で関連づける。

・記載イメージ

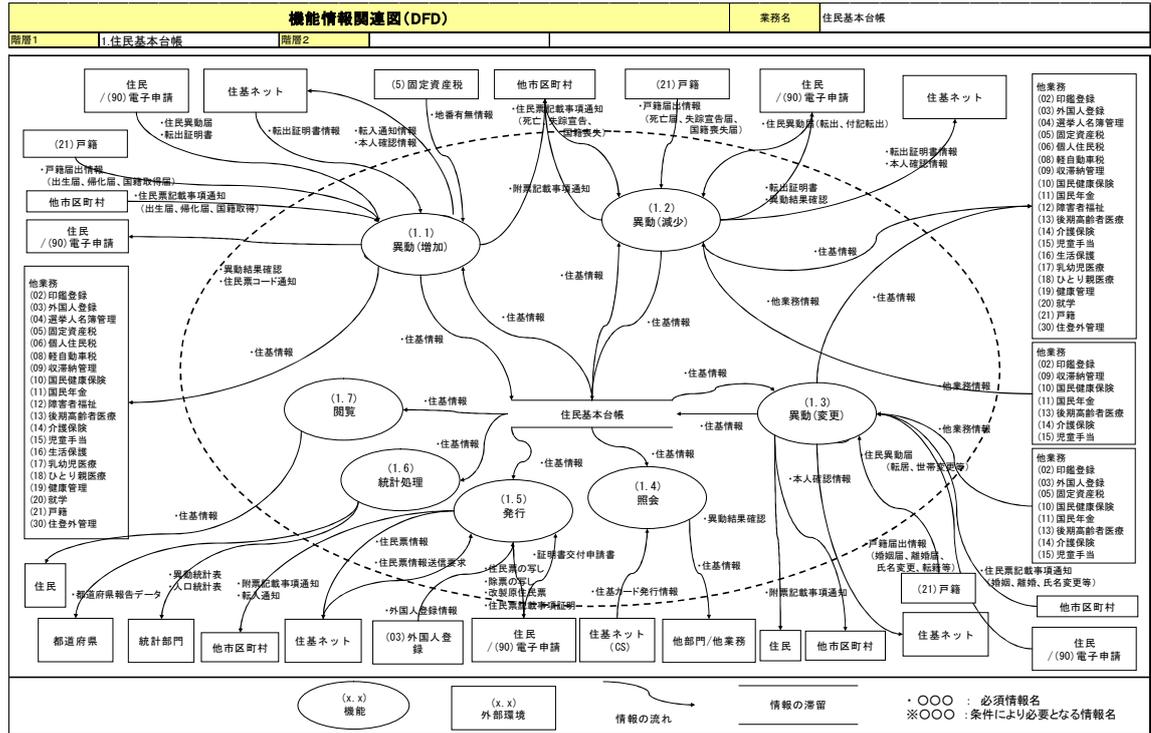


図 1.1.3 機能情報関連図(DFD)

・記載内容

No.	表記	説明
1		業務ユニットの範囲を示す。
2		各機能を示す。
3		他業務ユニット等の外部環境を示す。
4		業務ユニットにおける情報の滞留を示す。
5		情報名と流れの方向を示す。 必須の場合は「・」、条件付の場合は条件と「※」が情報名の先頭に付く。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	機能の階層毎に作成する。
2	各階層の間で整合性をとる。
3	下位階層の情報は上位階層に継承する。

・情報の流れ

No.	内容
1	情報の流れには、双方向の矢印は使わない。双方向の場合には個別に記載する。
2	必須の場合は、情報名の先頭に「・」。条件付きの場合は、「※」とともに条件を記載する。
3	情報名は、極力「業務名+情報」とする。 住民基本台帳は「住基情報」で統一する。

・機能、外部環境

No.	内容
1	機能には、機能番号と機能名を記載する。

(3) 留意事項

- ・機能情報関連図(DFD)は、現場の業務機能をシステムが処理すべき情報の視点から整理する。対象となる業務がシステム化されているか否かにかかわらず作成する。具体的にどのようなソフトウェアや情報技術が適用されるかは、全く関係しない。
- ・機能名と機能番号は、機能一覧・機能構成図(DMM)・機能情報関連図(DFD)において整合性をとる。
- ・情報名は、機能情報関連図(DFD)の階層1・インタフェース仕様、データ一覧において整合性をとる。
- ・情報名の必須／条件付きは、該当事務処理を行う際に、必ず情報が入力または出力される場合は「必須情報名」、条件により入力または出力される場合は「条件につき必要になる情報名」とする。ただし、申請書等(添付書類は除く)に関しては、条件により入力または出力される場合でも「必須情報名」とする。

1.1.4 インタフェース仕様

(1)概要

インタフェース仕様では、業務ユニット間で連携するデータ項目と入出力を表す。

情報項目は、「項目セット辞書」に対応する項目構造がある場合には、その項目セット辞書を適用する。

情報項目をコード化する場合には、「コード辞書」を確認し、適用するコードを決定する。「コード辞書」の中に該当のコードがない場合は、新規にコードを定義する。

また、インタフェース仕様は、機能情報関連図 (DFD) の階層1と情報名で関連づける。

・記載イメージ

インタフェース仕様 (ユニット)				業務ユニット番号: 1	業務ユニット名: 住民基本台帳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
No	情報名	コード		データ型	桁数	項目説明	ユニット(業務)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		00	コード名				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418

(2)ルール

・全般

No.	内容
1	業務ユニット間で連携するデータ項目を記載する。
2	業務ユニット間連携以外のデータ項目は、参考情報として記載する。 また、業務ユニット間連携以外のデータ項目は、No 欄を黒地に白抜き文字で記載する。
3	他業務ユニット、外部団体等との項目入出力を記載する。
4	業務ユニットへの入力情報は、添付資料は名称のみ記載する。業務ユニットのI/Oに利用するものは項目レベルまで記載する。
5	業務ユニットから出力情報は、住民等最終的な外部環境への情報は名称のみ記載する。業務ユニットでI/Oとするものは項目レベルまで記載する。
6	自治体内の他ユニットと、自治体間においての入力・参照項目は、全て詳細に分析する。 外部からの入力・参照項目については、基本的に入力項目のみ詳細に分析する。ただし、この入力項目が、全国的に規定された情報である場合は、情報名のみで可である。
7	全銀協フォーマットなど、すでに統一化されている情報を使用する場合、項目レベルの定義は行わず、項目説明欄に全銀協フォーマットを適用する旨を記載する。

・情報項目

No.	内容
1	情報項目毎に、コード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。
2	フリガナのデータタイプは、全角で統一する。
3	項目属性の9タイプは、数値としての意味を持つ場合を除いて、Xタイプにする。

(3)留意事項

- ・桁数は、業務ユニット間の連携で流通するときの最大桁数(文字列の場合は最大文字数)を表す。
各業務ユニットがシステム内部のDB等に情報を格納するときの桁数(または文字数)ではない。
- ・インタフェース仕様では、業務ユニット間で連携するデータ項目について標準として規定する。
外部機関との連携等、業務ユニット間連携以外のデータ項目は、参考情報として記載する。
- ・電子申請、電子申告、標準的データ対応に関しては、全国的に標準であるeL-TAXの場合は、eL-TAXに従う必要があるため、各項目を詳細に分析する必要はない。情報名欄に「○○情報」と記入し、項目説明に標準である旨を記載する。また、I/Oの欄は、「92 電子申告」の欄に「I」と記載する。全国的に標準でない電子申請や個別団体で実施している電子申告の場合は、詳細の項目を分析し、「91 電子申請」と外部実態である「住民」(または、「92 電子申告」と外部実態の「納税義務者」等)の両方の欄に、「I」を記載する。その他、電子申請・電子申告に限らず、標準であるもの(外部により規定されている等も含む)については、詳細項目の記入は不要とする。
- ・情報名は、機能情報関連図(DFD)の階層1・インタフェース仕様、データ一覧において整合性をとる。

1.1.5 データ一覧

(1)概要

データ一覧では、業務ユニットが所管するデータの中で、他業務ユニットとSOAPのサービス呼出しによるデータ連携で提供する情報を集約し明確化する。

・記載イメージ

データ一覧		業務ユニット名：住民基本台帳									
NO	情報名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明	
					CD	コード名	最小	最大			
1	住基情報							1	1		
2	識別番号	○	X	15				1	1		人を統一的に管理する番号
3	世帯番号	○	X	15				1	1		住基世帯を管理する番号
4	住民種別		X	1	○	住民種別		1	1		人の種別（住民・外国人・住在外・法人）を表す区分
5	住民状態		X	1	○	住民状態		1	1		人の状態（住民・転出・死亡・消除）を表す区分
6	住民票コード		X	11				0	1		住民基本台帳ネットワークの管理番号
7	氏名		氏名情報					1	1	○	住民基本台帳の氏名
8	性別		X	1	○	性別		1	1		住民基本台帳の性別
9	生年月日		生年月日情報					1	1		住民基本台帳の生年月日
10	続柄		続柄情報					1	1		住民基本台帳の世帯主との続柄
11	世帯主氏名		氏名情報					1	1		住民基本台帳の世帯主名
12	現住所		住所情報					1	1		住民基本台帳の現住所
13	前住所		住所情報					1	1		住民基本台帳の前住所
14	転出先		住所情報					1	1		住民基本台帳の転出先
15	転出先区分		X	1	○	住所区分		1	1		住民基本台帳の転出先が予定か確定かを示す区分
16	本籍		N	100				0	1	○	住民基本台帳の本籍
17	本籍住所コード		X	30	○	住所		0	1		住民基本台帳の本籍の住所コード
18	筆頭者		N	100				0	1	○	住民基本台帳の筆頭者
19	住民となった情報							1	1		住民基本台帳の住民となった（転入・出生など）情報

図 1.1.5 データ一覧

・記載内容

No.	項目名	内容
1	情報名	データ項目の名称を記載する。
2	キー	データ項目をキーとして使用するか否かを記載する。 ○:キーにする (無記載):キーにしない
3	データ型	データ項目のデータ型を記載する。
4	桁数	データ項目の桁数を記載する。
5	コード-CD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。 ○:コード化する (無記載):コード化しない
6	コード-コード名	データ項目をコード化する場合、使用するコードの名称を記載する。
7	出現回数-最小	データ項目の出現回数の下限を記載する。
8	出現回数-最大	データ項目の出現回数の上限を記載する。
9	外字使用	データ項目が外字を含むデータを取り得るか否かを記載する。 ○:外字を含む場合がある (無記載):外字を含む場合はない
10	項目説明	データ項目の説明等を記載する。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	他業務ユニットとSOAPのサービス呼出しにより連携するデータ項目を記載する。

・情報項目

No.	内容
1	情報項目毎に、コード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。
2	フリガナのデータタイプは、全角で統一する。
3	項目属性の9タイプは、数値としての意味を持つ場合を除いて、ほとんどXタイプにする。

(3) 留意事項

- ・桁数は、業務ユニット間の連携で流通するときの最大桁数(文字列の場合は最大文字数)を表す。
各業務ユニットがシステム内部のDB等に情報を格納するときの桁数(または文字数)ではない。
- ・出現回数の考え方は、XMLスキーマ上におけるタグの扱いが基本となる。
最小出現回数が0の場合、タグの省略が可能。
最小出現回数が1の場合、タグの省略は不可。(※データの値を空白、NULLにすることは可能。)
- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、外字使用に○を記載する。
また、XMLスキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。
- ・情報名は、機能情報関連図(DFD)の階層1・インタフェース仕様、データ一覧において整合性をとる。

1.1.6 インタフェース一覧

(1)概要

インタフェース一覧では、業務ユニットが提供側の業務ユニットとして、SOAPのサービス呼出しにより、情報を提供するためのインタフェースを定義する。

インタフェース一覧は、入力・出力を定義したインタフェース一覧と、その中のメッセージ名から関連づけられたメッセージ定義から成る。

・記載イメージ

インタフェース一覧		業務ユニット名：住民基本台帳	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
1-1	入力 識別番号	識別番号メッセージ	gxm 01s-0200.xsd gxm 01s-0200.wsdl
	出力 個人情報	個人情報メッセージ	
1-2	入力 世帯番号	世帯番号メッセージ	gxm 01s-0200.xsd gxm 01s-0200.wsdl
	出力 世帯情報	世帯情報メッセージ	
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		
	入力		
	出力		

メッセージ定義				メッセージ定義名：世帯情報メッセージ				
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数	外字 使用	項目説明
				コード名	最小 最大			
1	世帯情報					1 1		世帯を構成する全員の住基情報
2	世帯構成員情報					1 N		
3	識別番号	X	15			1 1		人を統一的に管理する番号
4	世帯番号	X	15			1 1		住基世帯を管理する番号
5	住民種別	X	1	○	住民種別	1 1		人の種別（住民・外国人・住登外・法人）を表す区分
6	住民状態	X	1	○	住民状態	1 1		人の状態（住民・転出・死亡・消除）を表す区分
7	住民票コード	X	11			0 1		住民基本台帳ネットワークの管理番号
8	氏名	氏名情報				1 1	○	住民基本台帳の氏名
9	性別	X	1	○	性別	1 1		住民基本台帳の性別
10	生年月日	生年月日情報				1 1		住民基本台帳の生年月日
11	続柄	続柄情報				1 1		住民基本台帳の世帯主との続柄
12	世帯主氏名	氏名情報				1 1		住民基本台帳の世帯主名
13	現住所	住所情報				1 1		住民基本台帳の現住所
14	前住所	住所情報				1 1		住民基本台帳の前住所
15	転出先	住所情報				1 1		住民基本台帳の転出先
16	転出先区分	X	1	○	住所区分	1 1		住民基本台帳の転出先が予定か確定かを示す区分
17	本籍	N	100			0 1	○	住民基本台帳の本籍
18	本籍住所コード	X	30	○	住所	0 1		住民基本台帳の本籍の住所コード

図 1.1.6 インタフェース一覧

・記載内容（インタフェース一覧）

No.	項目名	内容
1	インタフェース番号	インタフェースの識別番号を記載する。
2	入出力	インタフェースの入出力の区別を記載する。
3	メッセージ定義	インタフェースが使用するメッセージ定義の名称を記載する。
4	WSDL定義	インタフェースのWSDL定義の電子ファイル名を記載する。

・記載内容（メッセージ定義）

No.	項目名	内容
1	データ項目名	データ項目の名称を記載する。
2	データ型	データ項目のデータ型を記載する。
3	桁数	データ項目の桁数を記載する。
4	コード-CD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。 ○:コード化する (無記載):コード化しない
5	コード-コード名	データ項目をコード化する場合、使用するコードの名称を記載する。
6	出現回数-最小	データ項目の出現回数の下限を記載する。
7	出現回数-最大	データ項目の出現回数の上限を記載する。
8	外字使用	データ項目が外字を含むデータを取り得るか否かを記載する。 ○:外字を含む場合がある (無記載):外字を含む場合はない
9	項目説明	データ項目の説明等を記載する。

(2) ルール

・インタフェース一覧

No.	内容
1	メッセージ定義の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。
2	WSDL定義の電子ファイル名は、命名規則に従う。

・メッセージ定義

No.	内容
1	データ項目の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。

(3) 留意事項

- ・SOAPのサービス呼出し(オンライン連携)により、情報を提供するためのインタフェースを定義する。
- ・桁数は、XML スキーマ化した時の最大桁数となる。
- ・出現回数の考え方は、XML スキーマ上におけるタグの扱いが基本となる。
 - 最小出現回数が0の場合、タグの省略が可能。
 - 最小出現回数が1の場合、タグの省略は不可。
 - ※文字列型の項目についてはデータの値を空白(長さ0の文字列)にすることは可能。
 - 数値型の項目について、Null 値を認める場合は、正規の Null 値表現(<要素名 nil="true"></要素名>)を行う。
- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、外字使用に○を記載する。
 - また、XML スキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。

1.1.7 XMLスキーマ

(1) 概要

XMLスキーマでは、データ一覧をもとにXML形式に変換する。

(2) ルール

- ・プラットフォーム通信仕様のXML定義仕様に従う。
- ・XMLスキーマは業務ユニット毎に定義する。
- ・項目セット辞書は、別のXMLスキーマとして定義する。
- ・データ一覧において外字使用と定義されたデータ項目は、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。

また、その際、データ項目の名称は以下のとおりとする。

外字を含むデータ項目 : 「外字」+「(データ一覧で定義された情報名又は、項目セット辞書で定義された項目名)」

外字データを含まないデータ項目 : 「内字」+「(データ一覧で定義された情報名又は、項目セット辞書で定義された項目名)」

(3) 留意事項

- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、XMLスキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。

1.1.8 WSDL定義

(1)概要

WSDL定義では、インターフェース一覧をもとにWSDLに変換する。

WSDL定義は、インターフェース一覧に相当するWSDL定義ファイルと、メッセージ定義に相当するXMLスキーマ定義から成る。

(2)ルール

・WSDL定義

プラットフォーム通信仕様のWSDLのXML定義記述要件に従う。

・XMLスキーマ定義

プラットフォーム通信仕様のXML定義仕様に従う。

(3)留意事項

特になし

1.2 辞書の定義

1.2.1 項目セット辞書

(1) 概要

項目セット辞書では、インタフェースの設計等を効率的に進めることを目的として、インタフェース仕様等で共通的に利用されるデータ項目の集合体を標準化し、定義する。

・記載イメージ

項目セット辞書 ※複数の項目を組合せた項目セット辞書						版		作成日	
項番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数		外字使用	項目の説明
						最小	最大		
1	日付情報	年		X	4	1	1		西暦年
		月		X	2	1	1		右詰め残り前「0」
		日		X	2	1	1		右詰め残り前「0」
2	氏名情報	氏名		N	100	1	1	○	姓と名の間に全角の空白を一文字入れる。
		フリガナ		N	100	1	1		姓と名の間に全角の空白を一文字入れる。
3	住所情報	住所コード	○	X	30	1	1		LASDEC全国町字コード等の利用を想定。住所のコード化が必要な範囲に応じて自治体で個別に設定する。
		住所		N	100	1	1		
		方書		N	150	1	1	○	
		郵便番号		X	10	1	1		

図 1.2.1 項目セット辞書

・記載内容

No.	項目名	内容
1	項目セット名	項目セットの名称を記載する。
2	項目名	データ項目の名称を記載する。
3	CD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無を記載する。 ○:コード化する (無記載):コード化しない
4	データ型	データ項目のデータ型を記載する。
5	桁数	データ項目の桁数を記載する。
6	出現回数	データ項目の出現回数を記載する。
7	外字使用	データ項目が外字を含むデータを取り得るか否かを記載する。 ○:外字を含む場合がある (無記載):外字を含む場合はない
8	項目の説明	データ項目の説明等を記載する。

※「項目名」以下は、項目セットを構成する各データ項目の定義。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	説明には、データ項目の意味や、値のセットの仕方や注意事項を記載する。

(3) 留意事項

- ・項目セット辞書は、インタフェース仕様・データ一覧等を参照する時に利用する。
- ・項目セットは複数の項目セットを組合せて(再帰的に)定義することができる。また、その様な項目セット辞書を複合型と呼ぶ。
- ・桁数は、XMLスキーマ化した時の最大桁数となる。
- ・出現回数の考え方は、XMLスキーマ上におけるタグの扱いが基本となる。
 - 出現回数が0の場合、タグの省略が可能。
 - 出現回数が1の場合、タグの省略は不可。
 - ※文字列型の項目についてはデータの値を空白(長さ0の文字列)にすることは可能。
 - 数値型の項目について、Null値を認める場合は、正規のNull値表現(<要素名 nil="true"></要素名>)を行う。
- ・データ項目が外字を含むデータを取り得る場合、外字使用に○を記載する。
 - また、XMLスキーマを定義する際に、外字を含むデータ項目とは別に、外字データを含まない(内字に変換した)データ項目を設ける。

1.2.2 コード辞書

(1) 概要

コード辞書では、コード化されるデータ項目に対するコード値およびコード値の内容を定義する。

・記載イメージ

コード辞書(共通)					版	作成日
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	
1	有無	X	1	0	無	
				1	有	
2	年号	X	2	01	明治	
				02	大正	
				03	昭和	
				04	平成	
				99	その他	
3	性別	X	1	1	男	
				2	女	
				3	不明(未記入)	
4	住民種別	X	1	1	住民記録	
				2	外国人	
				3	住登外個人	
				4	法人	
				5	共有者	
5	住民状態	X	1	1	住登者	
				2	未登録住民者	
				3	転出者	
				4	死亡者	
				9	その他消除者	

図 1.2.2 コード辞書

・記載内容

No.	項目名	内容
1	項目名	コードの名称を記載する。
2	データ型	コードのデータ型を記載する。
3	桁数	コードの桁数を記載する。
4	コード値	コード値を記載する。
5	コード値の内容	コード値が示す内容を記載する。

※「コード値」以下は、コードを構成する各コード値の定義。

(2) ルール

・全般

No.	内容
1	標準規格または特定団体で定義されたコードを使用する場合は、その旨を記載する。
2	コード値の内容には、コード値が示す内容を正式名称で記載する。 (画面表示の文言に用いる目的では無い為、略語を用いて、文字数を短くする必要は無い。)

(3) 留意事項

- ・コード辞書は、インタフェース仕様・データ一覧等を参照する時に利用する。
- ・コード辞書は、業務ユニット間のSOAPのサービス呼出しによるデータ連携の実装時に必要となるデータ項目のコードを中心に定義する。インタフェース仕様などに表現されている外部機関等とのデータ連携におけるデータ項目については、その全てを規定する必要はない。

2. 付則

2.1 業務ユニット番号の付番

(1) 基本体系

[0-9][0-9]

(2) 付番ルール

業務ユニットは、フロント系業務ユニット、バック系業務ユニット(基幹系業務ユニット、内部管理系業務ユニット)、共通系業務ユニットに分類される。業務ユニット番号は、業務ユニットの分類毎に付番する。

(業務ユニットの分類に関しては、「アーキテクチャ標準仕様」の「4.3.1 業務ユニットの分類」を参照のこと。)

業務ユニット番号	内容
0	※未使用
1 } 49	バック系業務ユニット(基幹系業務ユニット)
50 } 69	バック系業務ユニット(内部管理系業務ユニット)
70 } 89	※プライベート領域
90 } 99	フロント系業務ユニット

(3) 留意事項

- ・上位桁が‘0’の場合には、上位桁を省略して表記する。
(例) ‘01’ → ‘1’
- ・プライベート領域の番号は、SI段階で自治体その他の利用者が独自に定義した業務ユニットに対して付番することができる。
ただし、その業務ユニットが自治体の範囲を超えて複数サイトに跨る場合には、使用できない。
- ・今後、新たな業務ユニットを定義する場合、適宜、付番ルールの見直しを行う。

2.2 機能番号の付番

(1) 基本体系

[業務ユニット番号].[0-9]*

(2) 付番ルール

・機能番号は、機能階層の階層毎に付番する。

(3) 留意事項

・機能番号の最上位は、業務ユニット番号を示す。

また、機能番号の「.(ピリオド)」は機能の階層構造を示す。

(例) ‘1’ … 業務ユニット(機能階層0の機能)の機能を指示す。

‘1.1’ … 業務ユニット‘1’を構成する機能階層(レベル01)の機能を指示す。

‘1.1.1’ … 業務ユニット‘1’を構成する機能階層(レベル02)の機能を指示す。

2.3 スキーマの命名

(1) 基本体系の命名規則

WSDL定義ファイル、メッセージ定義ファイル、XMLスキーマファイルは、業務ユニットあたり1つを基本とする。

・WSDL 定義ファイル名

「地域情報PF仕様種別の文字列」+「定義識別子」+「s」+「-」+「バージョン文字列」.wsdl

(例) 住民基本台帳 : lgxml01s-2010-01.wsdl
印鑑登録 : lgxml02s-2010-01.wsdl

・メッセージ定義ファイル名

「地域情報PF仕様種別の文字列」+「定義識別子」+「s」+「-」+「バージョン文字列」.xsd

(例) 住民基本台帳 : lgxml01s-2010-01.xsd
印鑑登録 : lgxml02s-2010-01.xsd

・XML スキーマファイル名

「地域情報PF仕様種別の文字列」+「定義識別子」+「-」+「バージョン文字列」.xsd

(例) 住民基本台帳 : lgxml01-2010-01.xsd
印鑑登録 : lgxml02-2010-01.xsd
項目セット辞書 : lgxml00-2010-01.xsd

(2) 複数ファイルに分割する場合の命名規則

定義識別子(「業務ユニット識別子」+「業務ユニット番号」)に連番二桁をつけて分割する。分割は01から開始し、99までとする。

(例) SI段階で利用者が独自の業務ユニット「70」を定義し、バージョン文字列が「20xx-xx」の場合

・WSDL定義ファイル名(分割の場合)

(その1): lgxml7001s-20xx-xx.wsdl
(その2): lgxml7002s-20xx-xx.wsdl

・メッセージ定義ファイル名(分割の場合)

(その1): lgxml7001s-20xx-xx.xsd
(その2): lgxml7002s-20xx-xx.xsd

・XMLスキーマファイル名(分割の場合)

(その1): lgxml7001-20xx-xx.xsd
(その2): lgxml7002-20xx-xx.xsd

(3) 留意事項

- 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の地域情報PF仕様種別の文字列は「lgxml」である。
- 定義識別子は、「業務ユニット識別子」+「業務ユニット番号」であるが、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様では業務ユニット識別子がない(空白)なので、業務ユニット番号のみとなる。
- バージョン文字列は、「西暦4桁-修正回数2桁」である。

2.4 項目セット辞書の命名

(1) 基本体系

「地域情報PF仕様種別の文字列(lgxml)」+「業務ユニット識別子」+「00」+「-」+「バージョン文字列」.xsd

(例) lgxml00-2010-01.xsd

(2) 留意事項

- 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の地域情報PF仕様種別の文字列は「lgxml」である。
- 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様では業務ユニット識別子がない(空白である)。
- バージョン文字列は、「西暦4桁-修正回数2桁」である。
- 項目セット辞書は、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様全体で1つ定義する。